

第6期岩見沢市総合計画の 中間検証の結果について

岩見沢市役所

企画財政部 企画室

1 中間検証にあたって

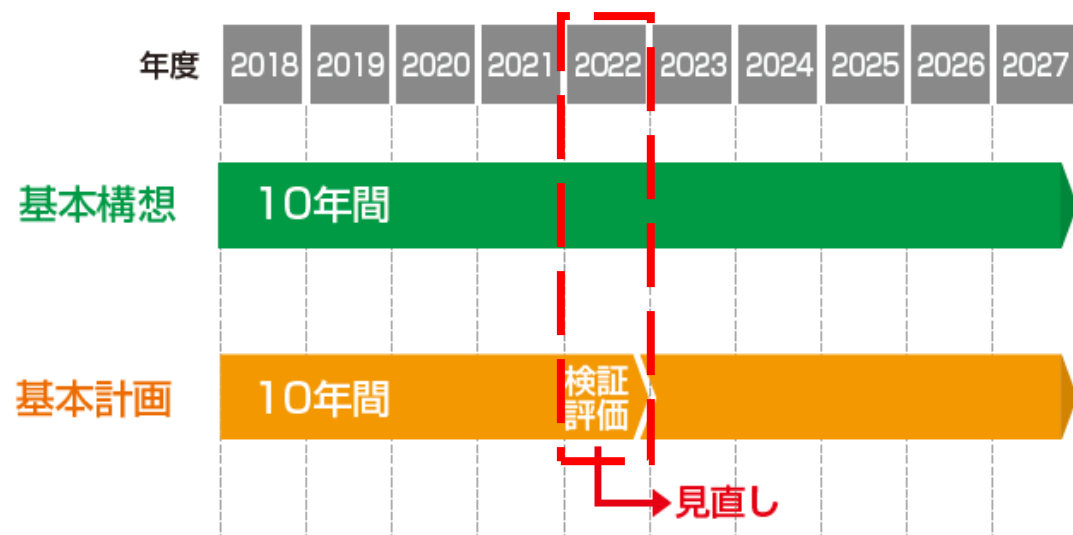
- 岩見沢市総合計画は、岩見沢市まちづくり基本条例を根拠として、平成30年度からスタートし、将来の都市像「人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市」の実現に向け、積極的なまちづくりを推進してきました。
- 「基本構想」に掲げた「6つの基本目標」と「32の基本施策」に基づき、重点事業をはじめとする事務事業に取り組み、計画の推進を図ってきました。
- 総合計画の折り返しにあたり、各施策の取組状況を「中間評価」として取りまとめ、その進捗等について検証しました。



■計画の構成



■計画期間



毎年度行う行政評価に加えて、本計画の全般にわたる検証・評価を実施（本書P8）

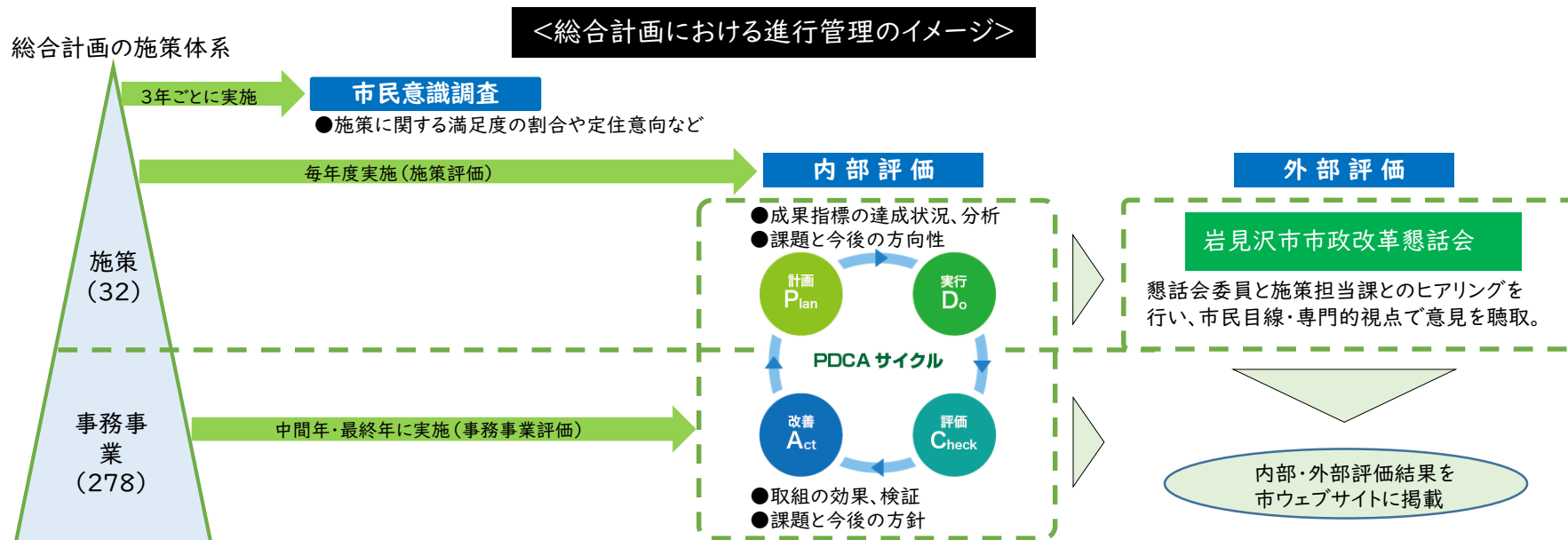
2 進行管理・評価体制

急激な人口減少、厳しさを増す財政状況、地方分権社会への対応を背景として、市では、行政サービスに対する市民満足度を高め、将来を見据えたまちづくりを推進するため、行政改革の基本的な考え方と方向性を示す「岩見沢市行政改革大綱」を策定し、行政評価システムの充実など、「経営型の改革」を実行することにより、成果（アウトカム）を重視した効率的・効果的な行政運営を図ることとしています。

また、「岩見沢市まちづくり基本条例」においては、行政評価を実施し、その結果を政策に反映するとともに、市民に分かりやすく公表することを定め、同条例を根拠として策定した「第6期岩見沢市総合計画」では、毎年度実施する行政評価を通じて、基本計画に掲げている施策・事業の進捗状況を的確に把握し、適切な進行管理を行っています。

(1) 総合計画における進行管理

毎年度実施する行政評価（内部評価→外部評価→最終評価）を通じて、適切な進行管理を行います。



2 進行管理・評価体制

- ①内部評価 → **【施策に関する評価】**（成果指標の達成度と取組内容の進捗を把握し、市民目線の施策等の推進を図る）
 総合計画に設定された成果指標に対する達成度や市民の満足度など、達成状況を適切に把握し、課題や改善点を明確化することにより、適切な事務事業等の見直しや次期計画への着実な反映を図るもの。
- **【事務事業に関する評価】**（事業の有効性や効率性を客観的に評価し、着実な進行管理を行う）
 基本施策を構成している事務事業を単位として、H30年度からR3年度の期間における取組状況について、有効性や効率性など評価し、適切な事務事業等の見直しや次期計画への着実な反映を図るもの。
- ②外部評価 → **【市民目線】**（専門的視点で効率的かつ効果的な施策を推進するための評価を実施）
 施策評価について、着実な進行管理を行うために、毎年度実施します。また、事務事業評価については、取組とその効果を中期的な視点で検証し、次期計画や事務事業の見直しにつなげるため、概ね4年に一度実施。

【行政評価に係るフロー図】

区分	事前準備等 ～5月下旬	一次評価 ～6月下旬	二次評価 ～8月上旬	外部評価 ～10月中旬	最終評価 ～10月下旬
行政改革推進本部			本部会議 ↑ 結果報告		本部会議 ↑
企画財政部	企画室 行政評価実施要領		全体調整・補正	外部評価作業	意見の集約 ↑
各所管部 (施策担当課)	作成依頼	施策担当課 施策評価シート作成		意見の聴取	
市政改革懇話会				市政改革懇話会	
パブリックコメント				公表・意見の聴取 ↓ パブリックコメント	

(2) 評価スケジュール

毎年度実施する行政評価

<内部評価>
↓
<外部評価>
↓
<最終評価>
を通じて、適切な進行管理を行います。

(3) 検証の視点

行政評価の結果をもとに、「基本目標・基本施策ごとの進捗状況」、「基本施策に掲げる指標の達成状況」、「基本施策に関連する事務事業」の取組状況や「市民意識調査結果」などを検証し、取りまとめました。

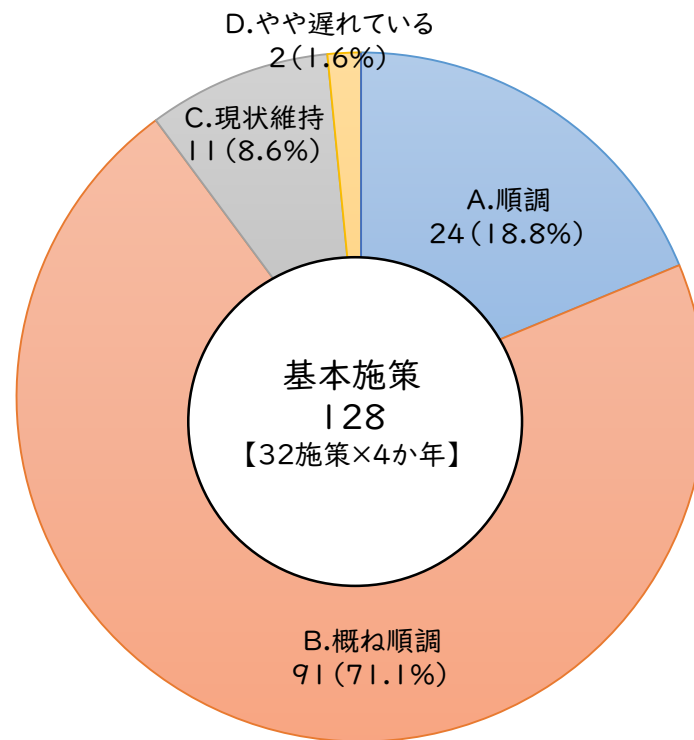
3 施策の進捗状況

- 第6期岩見沢市総合計画（以下、「総合計画」という。）における基本施策について、中間年（H30～R3）までとなる評価を行った結果、「A 順調」は24件（18.8%）、「B 概ね順調」は91件（71.1%）、「C 現状維持」は11件（8.6%）、「D やや遅れている」は2件（1.6%）、「E 遅れている」はありませんでした。
- 「A 順調」と「B 概ね順調」を合わせたものの割合は、89.9%となっています。
- 「D やや遅れている」の2件は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習・スポーツ分野における行事等の開催ができなかったことによる評価となっています。

<基本目標別 基本施策の評価結果>

※行政評価制度に基づく進捗状況

基本目標		H30	R1	R2	R3	4年計	4年平均	構成比
1 地域で支え合う 安全・安心なまち	A	1	1	1	1	4	1.0	16.7
	B	5	5	5	5	20	5.0	83.3
	C							
	D							
	E							
2 みんなが健康で 元気に暮らせるまち	A	1	1	2	3	7	1.8	29.2
	B	5	5	3	3	16	4.0	66.7
	C			1		1	0.3	4.2
	D							
	E							
3 活力と賑わいに 満ちた魅力あふれるまち	A		1			1	0.3	3.6
	B	7	5	5		17	4.3	60.7
	C		1	2	7	10	2.5	35.7
	D							
	E							
4 豊かな心と生きる 力をはぐくむまち	A	2	1			3	0.8	18.8
	B	2	2	2		6	1.5	37.5
	C		1	1	3	5	1.3	31.3
	D			1	1	2	0.5	12.5
	E							
5 自然と調和した快 適で暮らしやすいまち	A	2	2	3	1	8	2.0	28.6
	B	5	5	3	5	18	4.5	64.3
	C			1	1	2	0.5	7.1
	D							
	E							
6 市民とともに創る持 続可能で自立したまち	A			1		1	0.3	12.5
	B	2	2	1	2	7	1.8	87.5
	C							
	D							
	E							
計	A	6	6	7	5	24	6.0	18.8
	B	26	24	19	22	91	22.8	71.1
	C	0	2	5	4	11	2.8	8.6
	D	0	0	1	1	2	0.5	1.6
	E	0	0	0	0	0	0	0



C 現状維持

- ・移住定住の促進 (R2)
- ・新産業の創出と企業立地の推進 (R3)
- ・公共交通の利便性の向上 (R3, R4)
- ・地域資源を活かした観光の振興 (R3)

D やや遅れ

- ・生涯学習の振興と社会教育の充実 (R3)
- ・芸術文化・スポーツの振興 (R4)

4 成果指標の達成状況

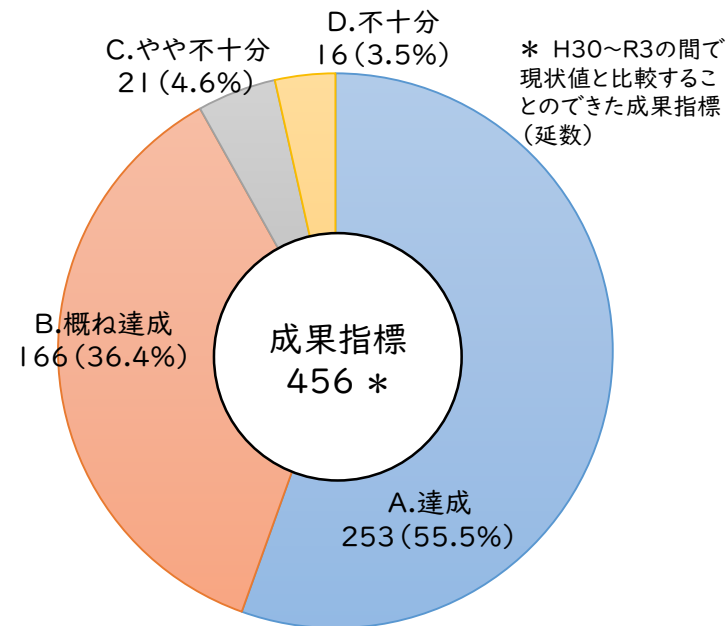
●「総合計画」の基本施策に設定した成果指標について、各年度ごとの達成状況が現状値より向上している「**A 達成**」は253件(55.5%)、達成率が60%以上の「**B 概ね達成**」は166件(36.4%)、達成率が60%未満の「**C やや不十分**」は21件(4.6%)、達成率が40%未満の「**D 不十分**」は16個(3.5%)ありました。

●「**A 達成**」と「**B 概ね達成**」を合わせたものの割合は、**91.9%**となっています。

●現状値を下回った原因の大半は新型コロナウイルス感染症の影響によるものですが、今後、目標達成に向けて取組の改善が必要です。

<成果指標の基本目標別評価結果>

基本目標の進捗状況区分		H30	R1	R2	R3	4年計	4年平均	構成比
1 地域で支え合う 安全・安心なまち	A	4	8	12	15	39	9.8	53.4%
	B	8	7	3	8	26	6.5	35.6%
	C	0	1		2	3	0.8	4.1%
	D		1	2	2	5	1.3	6.9%
2 みんなが健康で 元気に暮らせるまち	A	10	13	12	10	45	11.3	52.9%
	B	10	9	8	9	36	9.0	42.4%
	C			1	1	2	0.5	2.4%
	D			1	1	2	0.5	2.4%
3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	A	15	12	15	14	56	14.0	63.6%
	B	6	9	5	8	28	7.0	31.8%
	C			2	2	4	1.0	4.6%
	D							0%
4 豊かな心と生きる力を はぐくむまち	A	6	5	1	1	13	3.3	24.5%
	B	7	8	4	4	23	5.8	43.4%
	C		1	4	4	9	2.3	17.0%
	D			3	5	8	2.0	15.1%
5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	A	21	21	19	19	80	20.0	72.1%
	B	5	6	7	11	29	7.3	26.1%
	C			1	1	2	0.5	1.8%
	D							0%
6 市民とともに創る 持続可能で自立したまち	A	6	6	4	4	20	5.0	43.5%
	B	5	5	8	6	24	6.0	52.2%
	C				1	1	0.3	2.2%
	D				1	1	0.3	2.2%
計	A	62	65	63	63	253	63.3	55.5%
	B	41	44	35	46	166	41.5	36.4%
	C	0	2	8	11	21	5.3	4.6%
	D	0	1	6	9	16	4.0	3.5%



C やや不十分

- 地域自主排雪実施町会・自治会数 (R1)
- まちづくり基本条例を認知している市民割合 (R3)
- 観光入込客数 (R2, R3)
- 教育大との連携事業数 (R2, R3)
- 実質公債費比率 (R3)

D 不十分

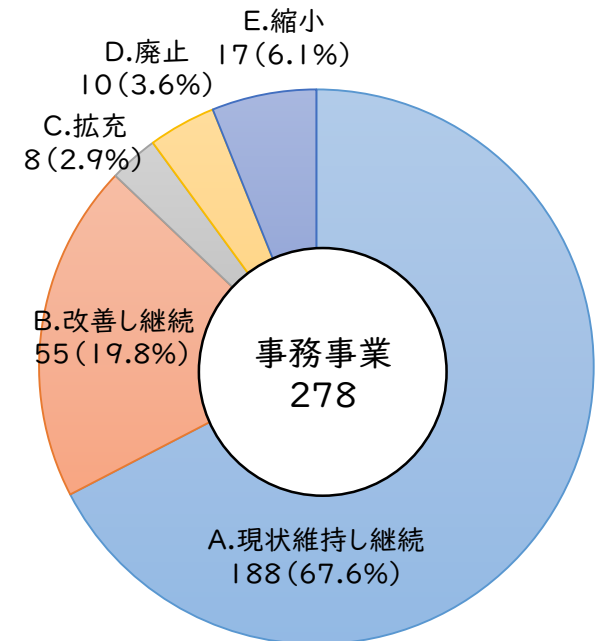
- 消防訓練参加者数・救急講習受講者数 (R2, R3)
- 各種健康教室参加者数 (R2, R3)
- 子育て支援センターの利用親子組数 (R2, R3)
- 不登校の児童生徒の割合 (R3)
- 将来負担比率 (R3)

5 事務事業評価

- 「総合計画」における32の基本施策に関連する278の事務事業について、中間年(H30~R4)までとなる評価を行った結果、「A 現状維持し継続」が188件(67.6%)、「B 改善し継続」は55件(19.8%)、「C 拡充」は8件(2.9%)、「D 廃止」は11件(4.0%)、「E 縮小」は17件(6.1%)でした。
- 現時点における経営的視点の評価としては、6つの基本目標すべてにおいて75点以上となっていますが、個別事業単位ではそれぞれの視点にバラツキがあるため、課題整理や今後の方向性を含めた協議・検討が必要。

<基本目標別の事務事業評価結果>

基本目標	事務事業数	今後の方向性				
		A 現状維持し継続	B 改善し継続	C 拡充	D 廃止	E 縮小
1 地域で支え合う 安全・安心なまち	22	15 68.2%	6 27.3%	0 0%	1 4.5%	0 0%
2 みんなが健康で 元気に暮らせるまち	33	22 66.7%	7 21.2%	0 0%	0 %	4 12.1%
3 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち	53	36 67.9%	8 15.1%	1 1.9%	0 %	8 15.1%
4 豊かな心と生きる力を はぐくむまち	81	57 70.4%	18 22.2%	1 1.2%	3 3.7%	2 2.5%
5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち	45	27 60.0%	8 17.8%	3 6.7%	6 13.3%	1 2.2%
6 市民とともに創る 持続可能で自立したまち	44	31 70.5%	8 18.2%	3 6.8%	0 0%	2 4.5%
区分合計	278	188 67.6%	55 19.8%	8 2.9%	10 3.6%	17 6.1%



<経営的視点の評価>

単位:点

基本目標	事務事業数	有効性	効率性	経済性	事業評価
		(A~Dの4段階評価(4~1点)の合計点の平均を100点換算した場合の点数)			
1	22	87.5	76.1	75.0	79.5
2	33	87.9	79.5	72.7	80.1
3	53	80.7	75.5	75.5	77.2
4	81	84.6	76.5	71.0	77.4
5	45	81.7	77.8	73.9	77.8
6	44	85.8	81.3	75.0	80.7
区分合計	278	84.7	77.8	73.8	78.8

6 市民意識調査結果

本計画の策定前、計画1年目、計画4年目に市民意識調査を行い、市が行っている施策や暮らしやすさ、住み続けたいと思う定住意向などについてアンケートを行い、市の施策に関する満足度等の現状を把握しています。

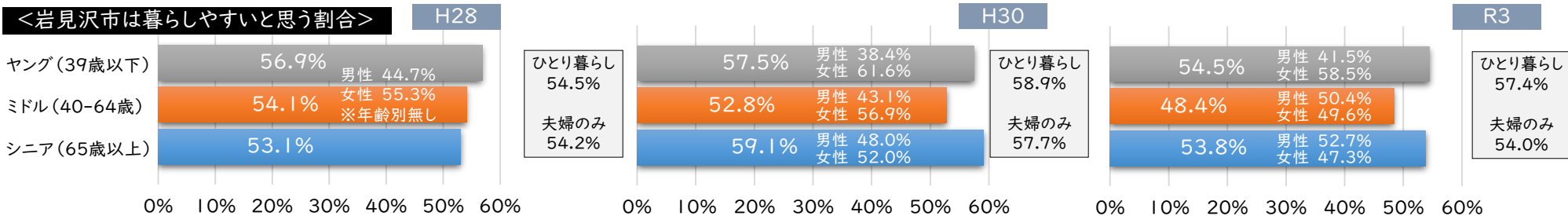
- 平成28(2016)年11月:回収数3,266件 回収率32.7% ~総合計画策定に向けた1万人アンケート~
- 平成30(2018)年11月:回収数1,330件 回収率44.3% ~総合計画の施策に関する満足度等のアンケート~
- 令和3(2021)年10月:回収数1,396件 回収率34.9% ~総合計画の施策に関する満足度等のアンケート~

<施策における満足の変化>

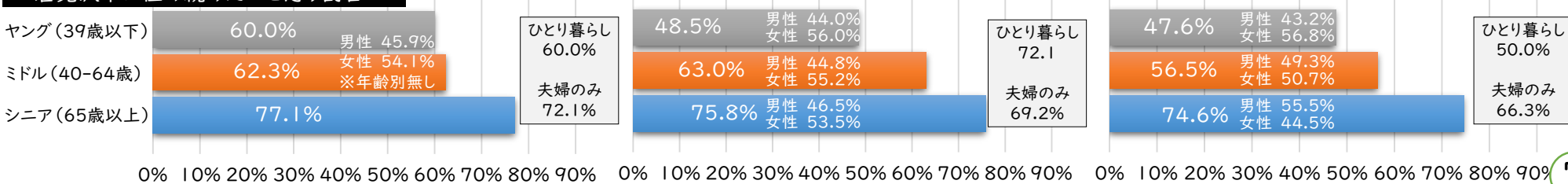
満足度の割合が高い項目			不満の割合が高い項目		
平成28(2016)年度	平成30(2018)年度	令和3(2021)年度	平成28(2016)年度	平成30(2018)年度	令和3(2021)年度
循環型社会の形成 64.5%	健康づくりの推進 36.6%	消防・救急体制の充実 33.3%	中心市街地の活性化 46.9%	商工業の振興と中心市街地の活性化 42.7%	公共交通の利便性の向上 46.1%
緑豊かな環境の整備 50.3%	消防・救急体制の充実 34.9%	健康づくりの推進 31.7%	総合的な雪対策の推進 37.9%	公共交通の利便性の向上 42.4%	総合的な雪対策の推進 43.0%
環境衛生対策の推進 46.0%	上下水道の適正な運営 33.8%	緑豊かなまちづくりの推進 29.8%	雇用環境の向上 37.9%	総合的な雪対策の推進 40.1%	商工業の振興と中心市街地の活性化 42.3%
病気の予防と早期発見 44.9%	総合的な雪対策の推進 30.4%	総合的な雪対策の推進 26.5%	魅力ある観光の展開 33.3%	雇用の拡大と就業環境の充実 39.4%	雇用の拡大と就業環境の充実 39.1%
地域防災力の向上 44.7%	緑豊かなまちづくりの推進 29.4%	安全・安心な生活環境の確保 26.3%	社会保障の充実 31.1%	新産業の創出と企業立地の推進 35.7%	新産業の創出と企業立地の推進 34.1%

※平成28(2016)は、旧計画の施策名となります

<岩見沢市は暮らしやすいと思う割合>



<岩見沢市に住み続けたいと思う割合>



7 中間検証の総括

将来の都市像		人と緑とまちがつながりともに育み未来をつくる 健康経営都市				
基本目標	H30年度 【293事業】	R1年度 【288事業】	R2年度 【280事業】	R3年度 【278事業】	R4年度 【274事業】	
1. 地域で支え合う 安全・安心なまち 【6施策・14基本方針】	新 岩見沢市強靱化計画策定事業 拡 地域除排雪活動支援事業	新 粟沢文化交流施設整備事業 拡 防災対策事業	新 防災関連計画事業 新 除雪機械車庫整備事業	拡 消防車両整備事業 拡 市民参画・協働のまちづくり事業	新 除排雪用機械整備事業 拡 男女共同参画社会推進事業	
2. みんなが健康で 元気に暮らせるまち 【6施策・16基本方針】	新 障害者文化芸術活動支援事業 廃 高齢者バス無料乗車券交付事業	拡 高齢者・障がい者見守り支援事業 拡 データヘルス事業	拡 疾病予防推進事業 拡 共生のまちづくり推進事業	新 新型コロナウイルス感染症予防事業 拡 健康寿命延伸事業	新 新型コロナウイルス接種対策事業 拡 老人福祉施設管理事業	
3. 活力と賑わいに 満ちた魅力あふれるまち 【7施策・16基本方針】	拡 移住定住促進事業 拡 シティブ・ロケーション推進事業	拡 ICT活用型総合戦略事業 拡 ふるさと毛陽地域振興事業	新 北村温泉施設整備事業 新 森林経営管理事業	拡 農業拠点施設管理事業 拡 商工金融円滑化事業	新 農業DX推進事業 新 地域イノベーション推進事業	
4. 豊かな心と生きる力 をはぐくむまち 【4施策・12基本方針】	拡 学力向上対策事業 拡 留守家庭児童対策事業	拡 不妊・不育症治療費助成事業 拡 健康・スポーツ推進事業	新 コミュニティ・スクール促進事業 新 保育・教育人材確保事業	新 ICT教育推進事業 拡 ひとり親家庭支援事業	新 芸術文化ネットワーク交流創出事業 廃 自然体験宿泊学習館運営事業	
5. 自然と調和した快適で 暮らしやすいまち 【7施策・14基本方針】	拡 市営住宅建設事業 廃 霊園造成事業	拡 生活交通確保対策事業 拡 市民連携活動事業	拡 民間住宅耐震改修等助成事業 廃 文向台衛生センター管理事業	拡 住宅政策推進事業 廃 桂沢水道企業団出資金	拡 環境対策事業 廃 駅前通整備促進事業	
6. 市民とともに創る 持続可能で自立したまち 【2施策・9基本方針】	拡 公共施設マネジメント推進事業 廃 教育大岩校体育施設整備補助事業	拡 市庁舎建設事業 拡 ふるさと応援寄附事業	拡 広報活動事業 廃 経費老人ホーム運営事業	新 スマート・デジタル自治体推進事業 新 広域交流促進事業	新 窓口スマート化推進事業 新 行政情報化推進事業	

中間検証の総括

①基本施策の取組と関連指標から

総合計画に位置付けた基本施策と関連する指標の検証結果としては、一部の施策において、新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標が総合計画策定時の現状値を下回るものや取組に遅れや制限があったものの、多くの施策については、「概ね計画どおり」の施策展開が行われたものの、前回評価との変動の大きい施策・重要度の高い施策の見直しや検討が必要です。

②事務事業評価から

社会経済情勢の変化や市民ニーズなどを捉えながら、事務事業の見直しや改善を進めてきましたが、今後は、これまで以上に効率的で効果的な事業実施が必要です。

③市民意識調査結果から

「暮らしやすいまちだと思いか」について、H28年の調査結果同様、5割以上が「暮らしやすい」と回答していることから、一定程度の方が岩見沢市での暮らしに満足されているもの、「岩見沢市での定住意向」については、3階層すべて減少傾向となっており、中でもミドル層(40歳～)における減少幅が大きいことから、年齢階層別の視点をもって施策や事業を考える必要があります。

④折り返しにあたって

毎年度の行政評価をはじめ、市長政策ヒアリングや予算ヒアリング等による事務事業のスクラップやブラッシュアップを行うとともに、時代の変化に対応した新たな取組にも着手するなど、全体の方向として一貫性を持ちつつ、計画に沿って順調に進んでいます。

本計画策定後、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化をはじめ、様々な分野におけるデジタル化や地球温暖化防止に向けた取組などの動きが加速していますが、これらの課題は本計画で捕捉しているため変更等はせず、今後は社会情勢の変化に遅れることなく、目指す将来像を見据えて、スピード感を持って、各施策に掲げる「10年後の目指す姿」の実現に向けた、まちづくりを進めていくこととします。